

中学生の「税についての作文」入賞おめでとう！

国税庁と全国納税貯蓄組合連合会が募集した中学生の「税についての作文」において本校生の作文が入賞しました。3年4組の空さんが兵庫県納税貯蓄組合総連合会会長賞に、3年2組の前田さんと3年3組の市川さんがともに灘納税貯蓄組合連合会長賞に輝きました。おめでとうございます。

この作文は毎年募集しているもので、将来を担う中学生が作文を書くことで、税について関心を持ち、正しい理解を深めてもらうという趣旨で実施しているものです。本年度は全国7,511校から593,795編の作文が寄せられ、それぞれ都道府県や近畿などの選考を経て、内閣総理大臣賞などの優秀作品が表彰されます。

本校では中学生3年生が社会の夏休みの課題として取り組み、毎年応募しています。今年度は本校生3名が入賞したということで、19日(水)に灘納税協会から原灘納税貯蓄組合連合会会長と灘納税協会の菊池専務理事が来校して下さり、校長室で生徒へ表彰状の贈呈をして下さいました。直々に表彰状と記念品の贈呈をして頂いた3人は共に緊張しながらも感激していました。以下、空さんの作文の一部を紹介します。(写真は空さん)

〈前略〉 私たちにとって「学校に通って勉強する。」ということは当たり前である。しかし、その当たり前の日常の裏には一生懸命働いている人の姿がある。そう思うと感謝の気持ちで胸がいっぱいになった。私は生徒1人ひとりが、一生懸命働き税金を納めてくれている人への感謝の気持ちを忘れてはいけないと思う。

「1人はみんなのために、みんなは1人のために」この言葉は税金を表すのにぴったりだと私は思う。日本の人々は、税金でお互いを助け合っている。まさに税金とは「助け合う精神」だと私は考える。誰かが納めた税で助けられる人がいる。国民みんなのために税金は使われている。そう考えると税金を納めることはとても大切なことである。この大切さを国民1人ひとりがよく考える必要があると思う。日本の将来をまかされた私たちは、日本の繁栄と福祉に貢献してほしいという国民全体の願いを受け止め、感謝の思いを胸に、学問に励まなくてはならない。それが今、税金を納めていない私たちに来ることである。〈後略〉

入賞 おめでとう！

兵庫県納税貯蓄組合総連合会長賞

3年4組 空 由実子

「助け合う精神を持つことの大切さ」

灘納税貯蓄組合連合会長賞

3年2組 前田 真那

「日本が盛んになるために」

3年3組 市川 真理

「不安のない一生」



頑張れバレ一部！ 近畿私学大会

12月21日(金)から第37回近畿私立高等学校バレーボール選手権大会が始まりました。

今大会は兵庫県での開催、21日にはグリーンアリーナ神戸で開会式が行われ、22日(土)に予選リーグ、23日(日)に決勝リーグが行われます。男女とも各府県を勝ち抜いた32校が出場しており、両日とも男女それぞれ4会場に分かれて試合を行います。

22日は各会場に分かれた8校がさらに2つのゾーンに分かれて、4チームでのリーグ戦を行います。

22日の予選リーグ、本校は県立総合体育館で試合が行われます。同じリーグには奈良文化高校(奈良)、建国高校(大阪)、京都学園高校(京都)といった強豪校があり、総当たりのリーグ戦6試合を行います。

翌23日は各リーグ戦の結果により1部～4部に分かれて決勝リーグを行います。

本校バレ一部は3年ぶり10回目の近畿私立高校大会になります。人数は少ないですが親和魂でもって悔いのない試合をしていく健闘を祈っています。



【チーム紹介】

「挑戦・叶えてこそ夢」を部旗に掲げ、練習時間は短いながらも、全員が集中し上達するように意識を高めて励んでいます。

7人という少ない人数でも、粘るバレーを目標とし、親和のバレーを見せつけます。

〈大会プログラムより〉